



こどもクリニックニュース

NO. 179 平成26年12月1日発行
ともながこどもクリニック

院長の予定 (平成27年1月まで)

12月	1日	(月)	2才健診	騎西・保健センター
	19日	(金)	3・9ヶ月健診	騎西・保健センター
	24日	(水)	9ヶ月健診	加須・保健センター
1月	14日	(水)	内科健診	第四保育所AM
			2才健診	加須・保健センター

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。

休診の予定

勝手ながら下記の日程で年末年始の休診といたします。

12月28日(日)～1月4日(日)

今季はカレンダーの都合上、8連休となります。ただし、休日診療当番日の午前中は診療します。

上記期間の中で、当院の当番日は1月3日(土)です。

通常の水曜日は、一日休診です。



感染症の情報

11月は多くの感染症の報告数が増加してきました。

RSウイルス感染症、溶連菌感染症、胃腸炎、水痘などです。加須市周辺ではまだおたふくかぜの報告が目立ちます。

そして一番の心配事はインフルエンザの報告数の増加です。11月後半には各地で学級閉鎖も出てきました。当院でもすでに10名前後のインフルエンザの診断・治療を行いました。埼玉県や東京都は、例年よりも早く流行期に入ったという報道もありましたので、今後増えていくのは間違いありません。十分注意してください。

手洗いはすべての感染症の予防に有効ですし、咳が出たらマスク着用などの「咳エチケット」をお願いします。

インフルエンザワクチン 実施中です

インフルエンザワクチンの接種回数は、
生後6ヵ月～13歳未満の方は2回、
13歳以上の方は1回が標準です。

2回接種の間隔は、最低2週間以上あけること、できれば4週間が望ましいと言われていますが、すでに流行期に入っています。これから接種を開始する場合、2週間過ぎたら早めに2回目の接種をお勧めします。

当院は「完全予約制」です。電話での予約も可能ですが、接種当日の予約はできません。通常診療の時間帯にも接種していますが、やはり予約制です。

12月の第2土曜日までは、土曜日午後インフルエンザワクチン専用の時間帯を設けていますので、是非こちらをご利用ください。

小児科休日診療の予定

平成27年1月4日までの当番一覧です。
元旦を除くすべての日曜・祝日で実施されます。
診療は9:00～12:00です。

月	日	曜日	当番医
12月	7日	(日)	加藤こどもC
	14日	(日)	中田病院
	21日	(日)	ともながこどもC
	23日	(火)	福島小児科医院
	28日	(日)	中田病院
	30日	(火)	つのだ小児科医院
	31日	(水)	つのだ小児科医院

平成27年

1月	1日	(木)	-
	2日	(金)	中田病院
	3日	(土)	ともながこどもC
	4日	(日)	つのだ小児科医院

当番は変わることがありますので、ご利用の際は加須市の広報誌やHPなどで最新情報をご確認ください。

スギ花粉症の「舌下免疫療法」できます。

いまや国民病とも呼ばれることもあるスギ花粉症ですが、現在の治療方法は①花粉を避ける、②対症治療を行いながら飛散の終わりを待つだけでした。平成26年10月に、今までとは全く異なる薬「シダトレン」が発売され、スギ花粉症治療の選択肢が増えました。

それは、スギ花粉エキスを少しずつ体に入れて、体をスギ花粉に慣らすことにより症状を少なくするという治療です。免疫療法（めんえきりょうほう）と呼ばれています。口の中（舌の下）にエキスを垂らすので「舌下免疫療法」と言います。以前から気管支喘息ではダニなどのエキスを注射する「減感作療法（げんかんさりょうほう）」が実施されていましたが、原理は同じです。

実際のやり方は、今回新発売されたスギ花粉エキスを口の中（舌のウラ）に垂らすというものです。注射ではありません。自分自身で、自宅で行えます。

こんな簡単な方法でスギ花粉症から解放されるのならだれでも大喜びされることと思います。ところがいい話ばかりではなく、この治療法の欠点や限界、問題点も正しく理解しておく必要があります。まず、大ざっぱな要点を取り上げてみます。

当前のことで、シダトレンはスギ花粉症にしか効きませんので、それ以外の花粉症には使用できません。

<治療スケジュール>

シダトレン（スギ花粉エキス）を2週間かけて徐々に増量し、その後一定量を長期間服用する（推奨期間は3年以上）。スギ花粉が飛散していない時期でも、休まず服用すること。

<効果並びに効果の持続期間>

即効性は少なく、徐々に効果が出てきます。長期間治療すると、多くの方は症状が無くなるか又は症状が軽くなります。ただし全く効果が出ない方も1~2割程度いるそうです。3年以上継続して効果があった場合も、中断して数年過ぎると再発することもあるそうです。

<副反応>

注射に比べ、ショックなどの重い副反応はかなり少ないと言われていています。比較的多いのは口の中のかゆみなどです。副反応が出やすいのは、服用後30分、治療開始時期（増量期）そしてスギ花粉の飛散時期です。そのため、春先のスギ花粉が飛散している時期には治療開始できません。また毎月1回は医療機関を受診することとなっています。

※服用可能な年齢は、成人および12歳以上の小児となっています。平成27年9月までは、一回の診察で2週間分しか処方できません。

◆舌下免疫療法を受ける時の心構え◆

舌下免疫療法は、スギ花粉症で悩んでいる方にとって有望な治療法ですが、不十分な治療や途中で中断するようなら、効果が期待できません。

- ・即効性は少ない（長期、継続する必要がある）こと。
- ・花粉の飛散時期以外も続けること。
- ・定期的に受診できること。
- ・3年以上継続しても効果のない方がいること。

このことを良く理解したうえで、長く治療する覚悟をもってご来院ください。

なお、シダトレンはすべての医療機関で処方できるわけではありません。所定の講習会を受講し、登録された医師だけが処方できます。当院では処方可能です。



当院のホームページ



<http://tomonaga-kodomoc.jp>

このクリニックニュースもご覧いただけます。

クリニックニュースの無料郵送サービスもしています。

郵送をご希望の方は、受付でお申し込み下さい。

反対に現在郵送サービスを受けている方で、「ネットで読めるから郵送は不要」という場合は、ご連絡いただければ幸いです。

ともなが
こどもクリニック
加須市下高柳 1633-1 TEL0480-66-4150